

宇 治 市 報 告 資 料

宇治市要保護児童対策地域協議会代表者会議 委員名簿

網掛け表示は新任委員（令和3年3月12日現在）

No.	所属	職名等	氏名
1	宇治市社会福祉協議会	理事	水嶋 眞美
2	宇治市民生児童委員協議会	会長	奥西 隆三
3	宇治市学区福祉委員会連絡協議会	代表幹事	大塚 英作
4	(社)宇治久世医師会	理事	石原 由理
5	京都弁護士会	弁護士	小原 路絵
6	城南人権擁護委員協議会	常任委員	山花 啓伸
7	宇治地区更生保護女性会	会員	池本 栄子
8	宇治市青少年健全育成協議会	企画委員	久世谷 幸治
9	宇治市校長会		岸田 和男
10	宇治市連合育友会	副会長	朝倉 亨
11	宇治市私立幼稚園協議会		西田 勝彦
12	宇治市立幼稚園園長会	会長	篠原 真奈美
13	宇治市私立幼稚園保護者会連合会	会長	水流添 良子
14	宇治市立幼稚園PTA連合会	副会長	佐藤 悠紀
15	宇治市民間保育園連盟		中田 純子
16	宇治市立保育所長会	会長	中川 智子
17	宇治市保育所保護者会連合会	副会長	亀田 怜奈
18	特定非営利活動法人 子育てを楽しむ会	代表理事	迫 きよみ
19	京都地方法務局宇治支局	支局長	向井 司郎
20	山城北保健所	保健課長	小嶋 操
21	宇治児童相談所	所長	佐々木 進
22	宇治警察署	生活安全課長	安達 茂樹
23	宇治市教育委員会	教育支援課長	福山 誠一
24	宇治市福祉こども部	保健推進課長	倉辻 崇秀

委嘱期間：令和4年7月27日まで（2年間）

事務局：宇治市福祉こども部 こども福祉課 子育て企画係

令和2年度宇治市児童虐待防止の主な取り組み等について

1. 令和2年度 こども家庭相談（児童虐待対応）の体制

平成29年4月より関係課及び関係機関とのより一層の連携を図るため、担当部署を市役所庁舎3階に“宇治市こども家庭相談”として移転し、対応体制についても、平成29年度から担当職員を1名増員して対応している。

また、令和2年4月よりこども福祉課のある2階に移転し、保健推進課や保育支援課などの関係各課との連携をさらに進めている。

専門相談員については、市役所1階の「来庁者子育て支援コーナー」への週2日配置に加え、週1日は、こども福祉課こども家庭相談に配置し、子育て相談と児童虐待対応との連携強化に取り組んでいる。

職種等	人員	備考
担当主幹（保健師）	1名	児童虐待業務の統括
教員免許を有するもの	1名	会計年度任用職員：週4.5日
保育士	1名	会計年度任用職員：週4.5日
児童福祉司任用資格者	2名	会計年度任用職員：週4.5日
専門相談員（社会福祉士など）	2名	会計年度任用職員：週5.0日（2人の交代勤務）
		会計年度任用職員：週1.0日

2. 要保護児童とその支援の状況等について

1) 児童虐待通告後の対応について

4ページ参照

2) 要保護児童の現認、保護者面接、所属機関等訪問数

所属機関による児童の現認に加え、緊急度の高い児童を中心に、こども福祉課こども家庭相談から家庭や学校等に出向いて、児童の現認や保護者面接を実施。

【令和2年度対応件数】（令和3年1月末現在）

（こども福祉課こども家庭相談の直接対応）

児童の現認 ： 42件（実数）65件（延数）
保護者等面談 ： 36世帯（実数）90回（延数）

3) 医療機関との連携

要保護児童に対する早期かつ適切な対応を行うため、児童や保護者の病状などについて医療機関と連携を実施。

4) 宇治市要保護児童対策地域協議会調整会議（実務者会議）の開催

2か月毎に、各関係機関の実務者が具体的な支援内容の検討と情報交換を実施。

【令和2年度開催】

令和2年 6月19日（金） 7月17日（金） 9月18日（金） 11月20日（金）
令和3年 1月15日（金） 3月19日（金）（予定）

5) 関係機関による連携会議の開催

2か月毎に府宇治児童相談所と市関係課の実務者による支援内容の検討会議を調整会議（実務者会議）の合間の月に実施。

【令和2年度開催】

令和2年 6月19日（金） 8月21日（金） 10月16日（金） 12月18日（金）
令和3年 2月19日（金）

6) 個別ケース会議の開催

個別の要保護児童について、各関係機関における情報共有と課題の確認を行うとともに、より具体的な援助方針や支援計画を作成し、支援に生かす取り組みを実施。

【令和2年度開催回数】 61回（令和3年1月末現在）

7) 令和2年度 宇治市の児童虐待相談対応の状況について 5～7ページ参照

3. 児童虐待の早期発見及び予防のための研修の実施について

1) 児童虐待防止セミナーの開催

京都府児童虐待防止アドバイザー市町村支援事業を活用した研修を実施。

対 象：要保護児童対策地域協議会の関係機関・団体等（一般市民含む）

日 時：令和2年11月12日（木）午後2時～4時（質疑応答を含む）

会 場：男女共同参画支援センター 会議室1

内 容：「コロナ禍の子育て不安と児童虐待予防」

講 師：NPO 法人児童虐待防止協会理事 白山真知子 氏

参 加：67人（会場42人・オンライン25人）

その他：市職員研修としても実施

2) 出張講座等の実施

対 象：要保護児童対策地域協議会の関係機関等

日 時：随時

内 容：児童虐待の防止に関する内容

【令和2年度】 関係機関・団体等を対象に5回実施。

4. 児童虐待の防止のための啓発について

児童虐待防止推進月間（11月）キャンペーン実施。

9ページ参照

5. 令和3年度の取り組みについて（予算提案中）

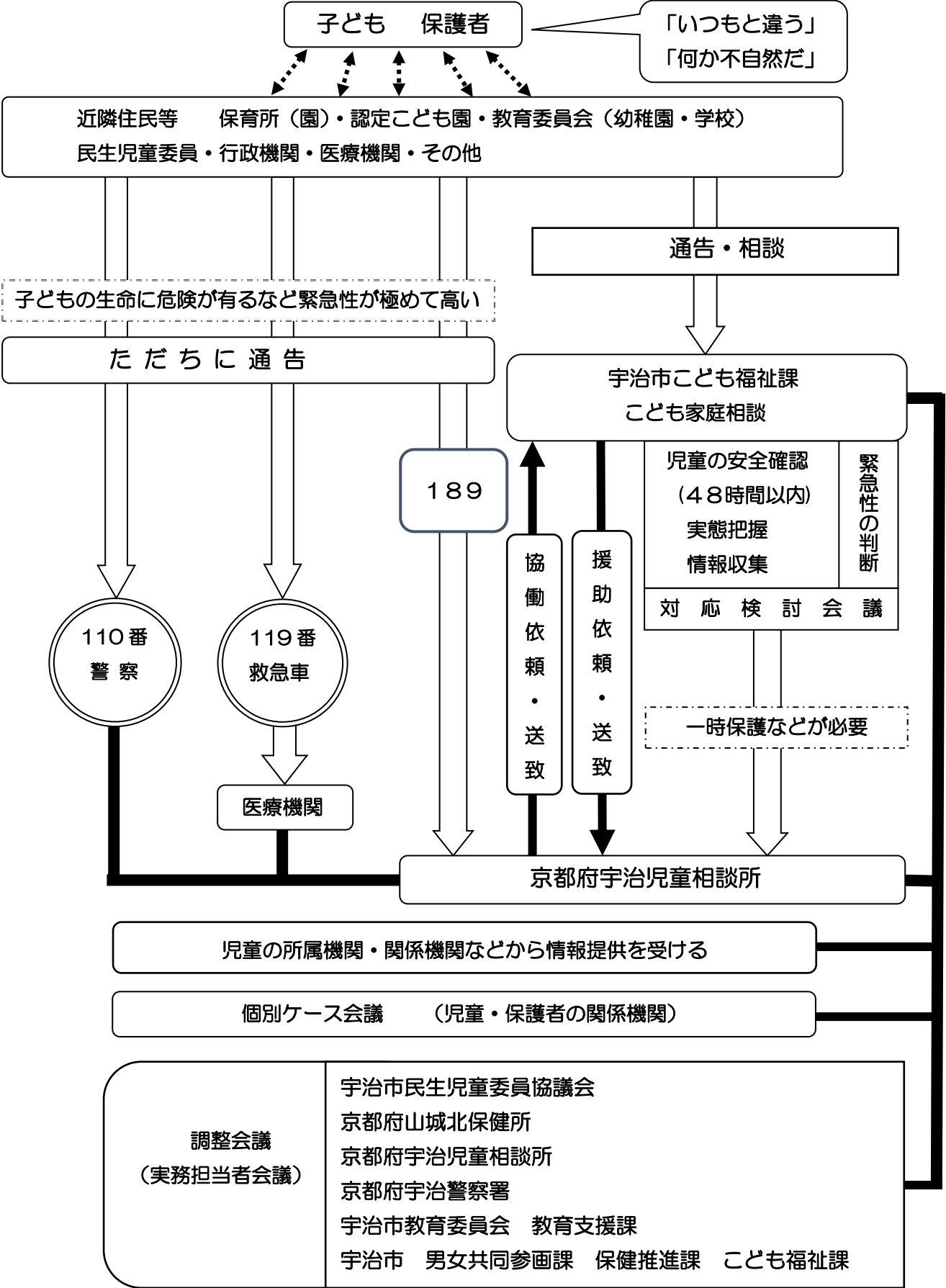
1) こども家庭相談の体制強化

こども家庭相談の職員体制を強化し、子ども家庭総合支援拠点を設置

2) 虐待児童等見守り強化事業

新型コロナウイルス感染症の影響による児童虐待等のリスクを軽減するため、子どもの見守りを強化する取り組みを実施

児童虐待通告後の対応



令和2年度 宇治市の児童虐待相談対応の状況について
 (令和2年度の数値は令和3年1月末現在)

1 相談対応件数の年次推移

	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
対応件数 (A)=(B)+(C)	315	427	630	714	788	656
前年度からの継続件数 (B)	226	213	277	398	406	353
新規受理件数 (C)	89	214	353	316	382	303
終結件数 (D)	102	150	232	308	435	215
次年度への継続件数 (A)-(D)	213	277	398	406	353	441

2 対応状況

	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度
施設入所	2	7	5	5	6	6
在宅支援	313	420	625	709	782	650
計	315	427	630	714	788	656

<傾向及び分析>

- 児童相談所と連携し、家族の再統合を図るべく、大半が在宅での支援となっている。

3 経路別対応件数

	家族	親戚	近隣知人	児童本人	虐待親本人	民生児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設	学校等	市役所	その他	児童相談所	計
27年度	7	6	26	1	3	2	1	3	35	90	49	39	53	315
28年度	4	7	21	1	4	5	1	3	51	105	50	52	123	427
29年度	4	6	16	1	3	8	1	11	56	119	52	47	306	630
30年度	6	3	12	0	0	5	1	13	59	131	55	51	378	714
R元年度	3	2	13	1	3	7	0	3	65	139	38	51	463	788
R2年度	4	4	19	1	1	7	0	5	54	95	36	39	391	656

<傾向及び分析>

- ・児童相談所からの通告増加の要因としては、次の3点が考えられる。
 - ①平成29年度より、児童相談所の個別対応ケースを市町村が共同で対応するようになったため
 - ②面前DVによる、警察から児童相談所への通告が増加したため
 - ③児童虐待通告全国共通ダイヤル189が、市民や関係機関に浸透してきたため

4 主たる虐待者

	実父	実父以外の男性			実母	実母以外の女性			その他家族	計		
		継父	同居男性等	元夫		継母	同居女性等	元妻				
27年度	101	18	11	5	2	188	4	4	0	0	4	315
28年度	121	21	9	12	0	273	3	3	0	0	9	427
29年度	211	24	14	10	0	382	1	1	0	0	12	630
30年度	247	31	27	4	0	427	1	1	0	0	8	714
R元年度	305	32	26	6	0	441	0	0	0	0	10	788
R2年度	264	22	14	6	2	359	1	1	0	0	10	656

<傾向及び分析>

- ・各年度とも実母が最も多いが、平成29年度から実父の増加が顕著。面前DVの多くが、父から母への暴力であることから、父が虐待者として計上されているため。

5 虐待の種類

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト (養育放棄等)	心理的虐待	計
27年度	110	4	90	111	315
28年度	138	1	118	170	427
29年度	153	1	134	342	630
30年度	161	5	113	435	714
R元年度	152	6	130	500	788
R2年度	133	4	117	402	656

<傾向及び分析>

- ・心理的虐待には、面前DVによる対応件数も計上されることから、近年大幅に増加。

6 年齢別虐待種類別分類（令和2年度）

	0～3歳 未満	3歳～ 就学前	小学生	中学生	高校生他 18歳未満	計
身体的虐待	17	37	55	20	4	133
性的虐待	0	0	0	3	1	4
ネグレクト（養育放棄等）	15	32	48	14	8	117
心理的虐待	72	104	143	54	29	402
計	104	173	246	91	42	656

<傾向及び分析>

- ・対応件数656件のうち、就学前児童(0歳～就学前)は277件(約42%)。
- ・次いで小学生の246件(約38%)となっており、年齢の低い児童に虐待リスクが高い傾向。

月別児童虐待新規受理件数等の比較について

	新規受理件数			電話相談件数		
	令和元年度	令和2年度 (速報値)	前年との差	令和元年度	令和2年度 (速報値)	前年との差
4月	29	32	+3	27	38	+11
5月	38	33	△5	37	34	△3
6月	23	33	+10	23	52	+29
7月	31	36	+5	36	43	+7
8月	21	22	+1	30	24	△6
9月	46	25	△21	30	44	+14
10月	54	39	△15	41	42	+1
11月	24	34	+10	40	40	0
12月	15	26	+11	29	27	△2
1月	41	23	△18	41	30	△11
計	322	303	△19	334	374	+40

<傾向及び分析>

・今年度の新規受理件数は令和2年4月から令和3年1月までが303件と前年度から19件（約6％）の減少である一方、電話相談件数は、令和2年4月から令和3年1月まで374件と前年度から40件（約12％）増加し、新型コロナウイルス感染症対策による子どもの生活環境の変化に伴い、子育ての方法や発熱時の対応、病院受診などについて、保護者が改めて対応に不安を抱える事例もみられた。

令和2年度「オレンジリボン・パープルリボン キャンペーン」実施報告書

国の「児童虐待防止推進月間」（11月）と「女性に対する暴力をなくす運動」（11月12日～25日）を受け、子どもへの虐待と女性に対する暴力の根絶に向けて、それぞれの活動のシンボルマークを合わせた、令和元年度「オレンジリボン・パープルリボン キャンペーン」を実施した。

実施期間		令和2年11月1日（日）～30日（月）	
主 催		宇治市（こども福祉課・男女共同参画課）	
協 力		宇治市要保護児童対策地域協議会、宇治市DV対策ネットワーク会議委員及び構成関係機関、その他関係機関・団体	
広報・啓発	市政だより	令和2年10月15日号「オレンジリボン・パープルリボンセミナーについて」 令和2年11月1日号「キャンペーンの内容・啓発記事」を掲載	
	ホームページ	令和2年11月1日（日）から11月30日（月）までキャンペーン内容を掲載	
	FMうじ	広報	令和2年11月12日（木）から25日（水）までメッセージ文を放送
		ラジオ出演	「宇治市探検」午前9時～9時30分放送 令和2年10月30日（金）「オレンジリボン・パープルリボンキャンペーンについて」 令和2年11月5日（木）「児童虐待とDVについて」
チラシ		23,500枚作成 関係機関等への配布や街頭啓発での配布に使用	
啓発展示	パネル展示	子どもへの虐待と女性に対する暴力の根絶をテーマにしたパネル展示を実施 ①令和2年11月1日（日）～30日（月）市役所1階市民交流ロビー ②令和2年11月19日（木）～11月25日（水）男女共同参画支援センター1階「ギャラリー ステップワン」 ※関連チラシ、リーフレット、啓発物品（400組）を設置	
	関連図書展示	令和2年11月1日（日）～29日（日）まで、男女共同参画支援センター3階「活動スペース」で、子どもへの虐待と女性に対する暴力の根絶に関連する図書の展示と、相談窓口等の関連リーフレットを配架	
街頭啓発	ホームセンターコーナン JR宇治駅北店	令和2年11月6日（金）午前10時～11時 啓発物品及びチラシを500組配布 参加者：13人	
	ゆめりあうじ（JR宇治駅）周辺	令和2年11月12日（木）午後4時～5時 啓発物品及びチラシを200組配布 参加者：16人	
	ひゅうまんフェスタうじ 2020会場	令和2年11月23日（月・祝）正午～午後1時 啓発物品及びチラシを150組配布 参加者：15人 ※市長・副市長参加	
オレンジリボン・パープルリボンセミナー		テーマ：「コロナ禍の子育て不安と児童虐待予防」 講師：白山 真知子氏（NPO法人児童虐待防止協会 理事） 日 時：令和2年11月12日（木）午後2時～4時 場 所：男女共同参画支援センター 会議室1 参加者：67人（会場42人・オンライン25人） その他：市職員研修としても実施	
啓発動画の配信		テーマ：「気づいて！あなたの身の周りの暴力」 ①「ドメスティック・バイオレンス（DV）について」 ②「DVと子ども虐待～家族のなかで起こっていること～」 ③「デートDV～対等な関係をきずくために～」 ④「性暴力～知っておきたい性暴力のこと～」 ⑤番外編「女性の生きづらさ～性別役割分担と母親役割～」 コロナ禍で生活スタイルが変わってきている中、家庭で過ごす時間が増えることで家族間のトラブルが増えたり、インターネットを通じて子どもたちを狙った犯罪等が増えることが懸念されています。 女性が気づきにくい暴力をテーマに、当事者はもちろん、被害者への理解にも役立つ動画を作成しました。 配信方法：ちはや茶んねる	